

KANAGAWA HOHYUH CLUB

神奈川放友会



Newsletter

Vol.18.No4. Oct.2025

第 72 号

神奈川県放射線友の会 (略称 神奈川放友会)

〒231-0033 横浜市中区長者町 4 丁目 9 番地 8 号

ストーク伊勢佐木 1 番館 501 号

TEL 045-681-7573 FAX 045-681-7578

発行人 中村 豊

発行日 2025 年(令和 7 年) 10 月 1 日

## 異常気象・・・なぜ？

副会長 橘 亨

今年 8 月 5 日、群馬県伊勢崎市でかつて経験したことのない国内最高気温を更新する **41.8 度** を観測した。茨城県、埼玉県、栃木県や、東京青梅市でも 40 度超えを観測し、全国 289 の観測点で 35 度以上と、連日日本列島に猛暑日が続く。夏の気温は 40 度が当たり前、日本の夏は猛暑と豪雨、気候的には日本が世界一過ごしにくい国になりつつあり今後も加速すると思われる。いまや日本は伝統の「春夏秋冬」の四季から「春」と「秋」がなくなり「夏冬」の二期になってきている。その一因となっているのが、CO2 ガスの排血量増加による「地球温暖化」である。近年は「観測史上最も暑い春と夏」がほぼ毎年繰り返され、日本では熱中症で毎年 1000 人規模の人が亡くなっている。この数は風水害による死亡者の 10 倍。まさに「**殺人的猛暑**」と言える。

海外でもロサンゼルスやオーストラリアの山火事、スペインの豪雨等、異常気象が原因と思われる大きな災害が各国で発生している。

何故こうなった・・・？

## 1. 「地球温暖化」による世界全体の海面水温の上昇

日本の太平洋側に流れる「黒潮」は本来ならば、南西諸島から北上し、紀伊半島沖を東に抜けていくが、偏西風の蛇行に伴い「黒潮大蛇行」が起こり北海道近くまで北上し、北海道周辺の海面水温は 5 度以上高くなっている。上昇した海水は冬まで高温が持続する。地球の面積の 7 割が海である。世界で最も上昇しているのは日本近海。世界全体の平均では 0.6 度↑、日本周辺では時と場所によっては 10 度↑も高い海域がある。2 度上昇でも異常気象をもたらす、海産物の収穫にも異状をきたしている。

## 2. 偏西風の蛇行

偏西風とは、ジェット気流と呼ばれる飛行機が飛ぶ高さ位の上空を西から東に向かって吹いている秒速 80 メートルにも達する風で、寒気と暖気の境目に吹いていて、この北側には寒気、南側には暖気がある。通常は偏西風の流れのパターンは緩やかに南北に揺れながら軽く波を打って流れるが、これが近年流れの速度が遅くなったため、大きく蛇行したまま固定され、ちょうど日本列島の上空で大きく北向きに蛇行したまま留まっているため、常に太平洋側に暖気が停滞したままになっている。これが猛暑を引き起こしている。

## 3. 北極温暖化加速

地球温暖化によって、北極の海氷が急激に溶け始めている。またシベリアやアラスカの大陸に積もった雪も急激に溶け始め、同時に永久凍土（地面が凍った状態）もどんどん溶け始めている。問題なのは、永久凍土の中には、二酸化炭素よりも圧倒的に強い温室効果ガスであるメタンガスが貯蔵されており、永久凍土が溶けると、メタンガスが大気中に放出され、爆発的に温暖化を促進する事である。実は今、世界で一番温度上昇が激しい地域は北極圏である。

日本に住むほとんどの人は、「北極温暖化加速」について知らないか、あるいは知っていても、白熊が可哀そうくらいの感覚かも知れないが、「北極温暖化加速が日本の気候まで大きく変えている」と聞いたら、他人事ではないと思う。「偏西風の蛇行」について先に述べたが、「北極温暖化加速」が北極の温度を上昇させ、赤道との温度差が縮まったために蛇行が激しくなっているのである。

日本は欧米に比べて温暖化やそれに伴う異常気象に無関心な人が多いようで、異常気象はライフラインを直撃し、食糧問題にもまた物価上昇に直結する事を鑑み、今すぐ「温室効果ガス」を削減する必要がある。それが「地球温暖化」を防ぐ根本療法なのです。

異常気象の危機は、これから先の「自分事」です。「子供や、孫事」です、「熱心な人が一人」いるより、「協力する百人」にしないと限りなくゼロに等しいのです。地球は熱慣性が大きいため、仮に今から全世界で CO2 ガスを減らし始めても、その効果が表れるのは 20 年後だと言われています。遅くなればなる程、異常気象は止める事は出来ずに、逆に益々進行してしまいます。

**何でもいい、今日からできる「温室効果ガス削減対策」を実行し「地球温暖化」を防ごう。**

例：節電、節水、節ガス、食品ロス削減、ゴミ削減、省エネ家電利用、再生可能エネルギー活用、車利用⇒電車、自転車利用、エスカレーター・エレベーター利用⇒階段、カーテン⇒断熱カーテン、アルミサッシ窓枠⇒断熱窓、

参考：立花義裕著「異常気象の未来予測」

# 第3回「講演と音楽の集い」報告

福田 利雄

## ● はじめに

2025年8月31日(日)、神奈川放友会主催の第3回「講演と音楽の集い」がJR鶴見駅前の鶴見区民文化センター・サルビアホール4階ホールにて開催された。参加者240名と多くの市民に地層処分を理解して頂き、音楽も楽しんでもらった有意義な会であった。

昨年12月1日(日)戸塚駅近くの男女共同参画センター横浜フォーラム・ホールにて第2回「講演と音楽の集い」を開催した。開催結果を報告書にまとめ、支援を受けた原子力発電環境整備機構(NUMO)、原子力文化財団(JAERO)に提出し高い評価を受けた。

令和7年度の本会の事業計画として、原子力発電の使用済燃料の最終処分方法として「地層処分の必要」についてより多く市民の皆様を知ってもらおう企画として、本年も「講演と音楽の集い」を理事会で審議し、2025年6月、原子力発電環境整備機構(NUMO)学習支援事業に応募した。WEBによる面談審査に早瀬総務理事が対応し【採択】となり支援を受ける事が確定し開催が決まったのである。

## ● 広報活動

「講演と音楽の集い」開催が決定し、広報活動に必要なポスター、プログラム、本会が企画実施してきた地層処分学習活動報告書等の作成を理事会で検討し広報に努めた。作成した広報資料を日本原子力文化財団(JAERO)に校正編集を依頼したところ、素晴らしい出来上りの見映えのあるポスター、プログラムが出来たのである。

## ● 当日配布のプログラム(A4サイズ2ページ)

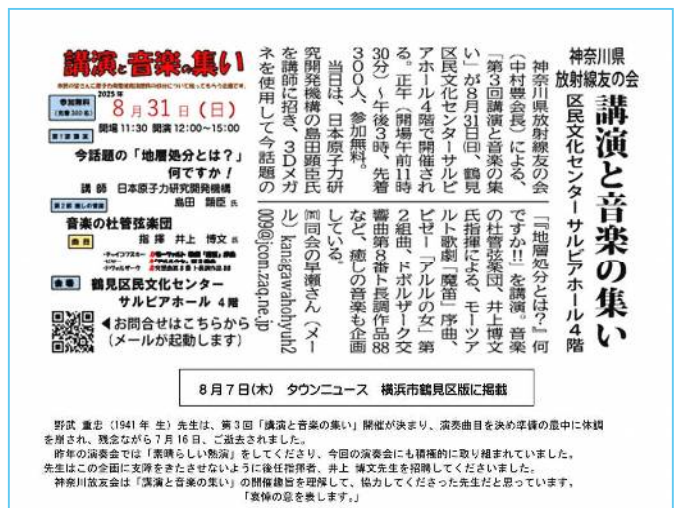


【Ⅱ】講演・講師「島田顕臣」氏の略歴等が紹介されている。島田顕臣氏には、昨年9月神奈川放友会で地層処分学習活動として、土岐瑞浪東濃地科学センター見学した折に説明担当して頂いた方で、熱のこもった説明、分かりやすい説明、話上手・・・ということで今回の講演会で講師をお願いし、快く引き受けて頂いたのである。

【Ⅳ】癒しの音楽・・・当初、音楽の杜管弦楽団の指揮者の予定であった野武重忠先生が、本年7月に体調を崩され急逝された。第2回の講演と音楽の集いにおいて指揮され今回の第3回開催にも積極的に協力して頂いた。大変残念で悲しい想いであった。哀悼の意を表します。

新たに指揮者として迎えられた井上博文先生、指揮者紹介の略歴から大変素晴らしい先生であり、今回の音楽会で素晴らしい指揮のもと素晴らしい演奏が聴けると思われた。神奈川放友会副会長の小嶋昌光さんには、「講演と音楽の集い」開催が決定してから、会場の設定、音楽の杜管弦楽団員とスタッフを含めた74名の方への連絡等大変忙しい日々を過ごされた事と思う。感謝である

## ● タウンニュース・横浜鶴見区版での広報



夏の涼感をイメージした素晴らしいポスター

鶴見区市民に配布されるので多くの参加者を期待したい。



## ● 広報活動 (その他)

中村会長は、地層処分に関する WEB 会議に参加、神奈川県放射線技師会、各地区技師会、神奈川核医学研究会、等に広報の協力を要請した。神奈川放友会役員の方々も、広報活動に努力したのである。インターネット (WEB) 上の広報として、日本原子力文化財団 (JAERO) の「応援の輪」「知爽の人」でも広報して頂いた。感謝である。

(ある病院の待合室掲示板に「講演と音楽の集い」のポスター)

## ◎ 第一部 講演会 2025/8/31 (日)

12:00 橘副会長の司会進行で、中村会長より挨拶があり、次いで本日の講師、日本原子力研究開発機構 (JAEA) の島田顕臣先生の地層処分に関する講演が開始された。

## ● 今話題の「地層処分とは？」何ですか！

原子力発電所の使用済み燃料の再処理過程で発生する「高レベル放射性廃棄物」の最終処分方法である「地層処分」は世界共通の認識であり、日本国でも法的に認可された処分事業である。地層処分とは何か、安全に処分を進める、国民の理解が必要 (トランスサイエンスの問題) 等について講演して頂いた。講演内容は以下の内容



- (1) 高レベル放射性廃棄物とは
- (2) 地層処分とは
- (3) 日本の地層処分事業の現状は
- (4) まとめ

島田先生は話上手、「高レベル放射性廃棄物」の処分には、地層処分が最も安全で、最も実現性が高いことを分かりやすく説明して頂いた。日本には活断層が多い、活断層による影響の説明時に、3D メガネ (赤青) を使用し活断層の概観を立体的に説明して頂いた。初めての 3D メガネ経験の方も多く、楽しく好評であった。また、先生より



7,000 万年前の花崗岩のコースターを 10 枚プレゼントして頂いた (3D メガネに当選マーク JAEA)。土岐瑞波市地下 500m から採取し加工されたとの事。

講演会終了後、会場より 4 名の方が質問された。



島田先生、画像再表示して、ていねいに質問に答えて頂いた。先生の担当分野以外の質問もあったが、詳細に分かりやすく説明された。講演終了後の休憩時間にも受付付近にて何人かの方より質問を受け対応して頂きました。

## ● 神奈川放友会「地層処分学習活動報告 2024 REPORT」



神奈川放友会名誉会長 長谷川武より、2019 年度より NUMO の地層処分活動に応募して受講学習と 4 回の施設見学をし、会員市民と一緒に活動する「市民公開講演会・講演と音楽の集い」等の学習企画を進めて来たとの報告がありました。

## ◎ 第二部 癒しの音楽

13:35~音楽の杜管弦楽団の演奏会が始まった。

## ● 故野武重忠氏を偲ぶ



小嶋副会長 (楽団世話人) より、今年 7 月に急逝された指揮者野武重忠氏追悼の言葉があり、後任の指揮者井上博文氏指揮により 1 曲演奏され、その後、

楽団員、会場参加者、全員起立、「黙祷」、冥福を祈った。

## ● 音楽の杜管弦楽団演奏曲目 (指揮 井上博文 氏)



- ・モーツァルト ♪ 歌劇「魔笛」序曲
  - ・ビゼー ♪ 「アルルの女」第 2 組曲
  - ・ドボルザーク ♪ 交響曲第 8 番ト長調作品 88
- 指揮者、井上博文氏は劇団四季にてオペラ座の怪人、東京ニューシティ管弦楽団、群馬交響楽団、宝塚歌劇団等でも指揮を務め、海外留学の経験もあり、後進の指導にあたられている素晴らしい指揮者であった。



約 2 時間 (休憩 15 分) 迫力のある素晴らしい演奏が続いた。演奏終了時には大きな拍手が会場内に鳴り響いた。

## ● 講演と音楽の集い・・・終えて

15:30 演奏会終了、楽団員の方には舞台に残って頂



き、神奈川放友会会長中村豊氏、日本原子力文化財団の岡元博志氏、指揮者井上博文氏より楽団の皆様へ

お礼の挨拶がされ、その後、記念撮影し解散となった。3F ギャラリー放友会控室にて、実行役員会が開催され、早瀬理事 (運営責任者) より今回の「講演と音楽の集い」参加者は 240 名であったとの報告がされた。



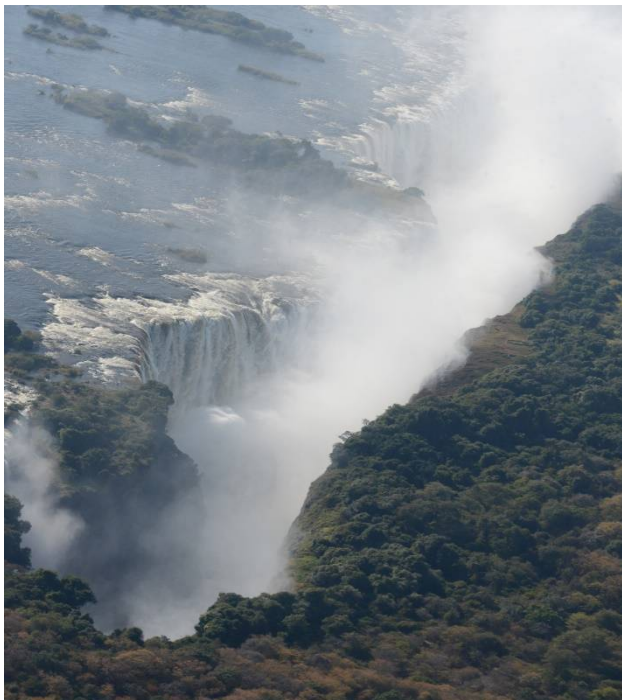
## アフリカ(ジンバブエ・ザンビア・ボツワナ・南アフリカ)を旅する

中村 豊・福田利雄

中村とその妹・弟と福田の4人グループでビクトリアの滝、チョベ国立公園のサファリ、喜望峰等の観光が楽しめる南アフリカ旅行に参加しました。

### ■ ビクトリアの滝

ビクトリアの滝はアフリカ第4の長さのザンベジ川の玄武岩層の峡谷(Gorge)にあります。ジンバブエ・ザンビアの両国にまたがる滝幅 1,708m、最大落差 108m の世界でも屈指の大きさを誇る滝で、世界遺産に登録されています。この滝はスコットランド人の探検家デイビット・リビングストンにより 1855 年 11 月 16 日に発見され、当時のイギリス女王に因んで「ビクトリアの滝」と名付けられました。ザンビアではモシー・オワ・トゥーニャ(Mosi-oa-Tunya、雷鳴のする水煙)と呼び、水量の多い時にはその水煙は 1000m 上空まで上がります。6 月のビクトリアの滝は最大の水量があり、土砂降りの雨のような水煙を浴び、その迫力に圧倒されました。世界三大瀑布(ナイアガラの滝、イグアスの滝、ビクトリアの滝)が観たいと旅行計画をしてきましたが、ビクトリアの滝が最後の目的地でした。



ビクトリアの滝全貌(ヘリコプターから)



圧倒的な水量のビクトリアの滝

### ■ チョベ国立公園のサファリゲームドライブ

ボツワナにあるチョベ国立公園は全体の面積 11,700 km<sup>2</sup> (四国くらい)、ジンバブエ・ザンビア・ナミビア国境に近い地域は「リバーフロント」と言われ、ザンベジ川の支流のチョベ川流域にあります。



チョベ川河畔のゾウの群れ

チョベ国立公園の最大の特徴はアフリカゾウの生息数の多さです。現在でも 50000 頭が生息して、アフリカ大陸でも最も生息密度が高いと言われています。

ここでは通常のサファリカーに乗ってのサファリゲームドライブとボートに乗ってチョベ川クルーズを楽しめました。川から眺めるゾウの群れ、そしてカバやワニやミズトカゲは陸から見るとはまた違った趣でした。陸でのサファリではゾウ、バッファローの群れ、インパラ、キリン、シマウマ、イボイノシシ、ヒヒやサルなど、そしてヘビウ、サニショウウミワシ、ライラニックブクポウソウ、エジプトガン、ホロホロチョウなど多種の動物を見ることができました。ビッグ 5 (ライオン、ヒョウ、ゾウ、バッファロー、サイ) と呼ばれる動物の 3 種類を観ることができました。

そして運よくライオンがバッファローを狩り、自然の弱肉強食の実際を見ることができました。



バッファローの狩りに成功した若い雄ライオン兄弟





不気味に近づくバッファローの群れ



水草を食べるチョベ川のカバ

## ■ ケープタウン

“マザーシティ”の愛称を持つ港町「ケープタウン」は、世界で最も美しい街の一つで、豊かな自然にも恵まれています。南側には街の象徴であるテーブルマウンテンがそびえ、周囲にはアフリカ大陸最南西端にある喜望峰やワイナリー、ビーチなど見どころがあります。



ケープタウンと後方のテーブルマウンテン

## ■ 喜望峰(Cape of Good Hope)とテーブルマウンテン

喜望峰は 1488 年にポルトガルの探検家バルトロメウ・ディアスによって発見され、その後 1497 年にヴァスコ・ダ・ガマが、この岬を經由してインドへの貿易航路を開拓しました。それを記念して当時のポルトガル国王が、Cape of Good Hope（希望の岬）として命名しました。この後、ヨーロッパ列国によるアジアの植民地支配が行われました。喜望峰は実際にはアフリカ大陸の最南西端に位置して、最南端は喜望峰から 150 km 南東のアグラス岬になるとのことです。



喜望峰 (Cape of good hope)

この地域は独自の灌木地帯フィンボスが見られ、250 種を超える鳥類、ヒヒ、ダチョウやケープマウンテンゼブラが生息しています。また、ボルダーズビーチにはケープペンギンが生息しています。



海より戻ったケープペンギンの群れ

テーブルマウンテン（標高 1086m）はケープタウンの南部に位置し、西側には大西洋が望めます。頂上までロープウェイ（65 人乗り）が走行して、頂上に行くまでの間に 360 度回転し、十分な眺望ができました。



テーブルマウンテンのロープウェイ

南アフリカの旅は飛行機を 3 回乗継、3 カ国の入出国審査等、約 28 時間と長い時間を要しました。アフリカはやはり遠く、ハードな旅でした！

旅の詳細は福田のブログ（本会ホームページから [福suke笑顔のblog \(livedoor.jp\)](https://livedoor.jp/fukusuke)）をご覧ください。

ザンベジ川上流のサバンナ（オカバンゴ）はホモサピエンスの故郷と考えられ、近年、研究も進んでいます。この事については別の機会に報告します。



## 自治会活動と共に 19 年

小松崎 眞一

昭和 46 年 渕野辺病院（現・渕野辺総合病院）に診療放射線技師として勤務したのです。勤務が終了したのは平成 15 年です。以後アルバイトを 10 年続け 70 歳で仕事を終わりました。息子と娘からもう仕事しなくてもいいのではと言われた。

さてどう生きるか思いをめぐらせた時、平成 18 年住んでいる住所地で自治会の班長の当番ですよ！行った自治会で知り合いの副会長から役員になって欲しいと言われたのです。受けたのがきっかけで副会長を拝命しました。そしてパソコンを行うことになりました。以後どの様に過ごして来たのか写真と共に書いて見ます。

### 1. 経過

- 平成 18 年 嶽之内自治会副会長
- 19 年 神奈川放友会設立副会長
- 20 年 神奈川放友会 Newsletter が創刊  
神奈川放友会第 1 回理事会開催  
環境エネルギー館とビール工場見学
- 21 年 相模原市区名が緑区・中央区・南区に正式決定
- 22 年 相模原市が政令指定都市として認可  
初代はやぶさ地球に帰還
- 23 年 東日本大震災発生
- 24 年 東京スカイツリー開業
- 25 年 嶽之内自治会自治会法人取得
- 26 年 嶽之内自治会会館建設  
リニア中央新幹線神奈川県駅(仮)工事認可
- 27 年 圏央道相模原 IC 開通
- 28 年 いきいき 100 歳体操始まる
- 29 年 神奈川放友会創立 10 周年記念式典開催
- 30 年 小型探査ロボット小惑星リュウグウ着陸
- 31 年 平成から令和に代わる  
嶽之内自治会会館 5 周年記念式典開催
- 令和 2 年 はやぶさ 2 地球へ  
コロナ感染拡大で自治会行事中止
- 3 年 自治会行事中止
- 4 年 自治会行事中止
- 5 年 自治会行事徐々に開始  
神奈川放友会監事
- 6 年 相模原市市制施行 70 周年記念日に  
市政功労賞受賞  
嶽之内自治会館設立 10 周年記念式典開催

### 2. 嶽之内自治会概要

会長 山口 信郎  
昭和 33 年近所の自治会から分離  
世帯数 1765  
地域に根ざした活動を提唱

盆踊り大会



どんど焼き



おもちつき



自治会の活動は会員と役員および地域の人々がお互いの立場での協力があることで成り立つことです。この 19 年間で学べたことが最大の収穫であった。このことをしっかり胸にこれからも続けていきます。



### 3. 市政功労賞に接して

昭和 47 年東京都世田谷区から相模原市へ引っ越し  
てきまして相模原市の住人になりました。  
令和6年6月自治会会長から自治会を始めて何年にな  
る？との質問がありました。  
その年の 10 月相模原市長から書簡で市制施行記念日  
に自治会活動による市政功労表彰したいので受けて  
くださいとの事でした。同時に相模原市市制施行 70  
周年記念式典に参加していただませんかと依頼さ  
れた。光栄なことです。  
令和6年 11 月 20 日の記念日を自分の携帯で撮った写  
真で振り返ってみます。

#### 本村市長とのツーショット(撮影者市の職員)



#### 表彰式会場のスナップ

受賞者は 100 人以上であった。  
ひとりひとり手渡しされたのでかなりの時間が  
掛かった



#### 市制施行 70 周年記念式典 (相模原市民会館ホール)



### さがみはら未来会議



### 表彰者の紹介



### 和太鼓演奏



### 式典終了後のレセプションでの黒岩神奈川県知事





## 「音楽の杜管弦楽団」常任指揮者 野武 重忠 先生 ご逝去される。



野武 重忠（1941 年 生）先生は、第 3 回「講演と音楽の集い」開催が決まり、演奏曲目を決め準備の最中に体調を崩され、残念ながら 7 月 16 日、ご逝去されました。

昨年の演奏会では「素晴らしい熱演」をしてくださり、今回の演奏会にも積極的に取り組まれていました。先生はこの企画に支障をきたさせないように後任指揮者、井上 博文先生を招聘してくださいました。

神奈川放友会は「講演と音楽の集い」の開催趣旨を理解して、協力してくださった先生だと思っています。 **「哀悼の意を表します。」**



## 「音楽の杜管弦楽団」 指揮者 井上 博文 先生からの御礼と哀悼の言葉

このたびの「講演と音楽の集い」におきまして、皆様と音楽を分かち合える機会をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。本来であれば野武先生が指揮なさるはずの演奏会でしたが、作りあげる途上でご逝去されました。先生の遺してくださった大切なメンバーや選曲、構想などを受け継ぎ、その舞台に立たせていただきましたことは、身に余る光栄であると同時に、大きな責任を感じる時間でもありました。野武先生の音楽に対する真摯な情熱と温かいお人柄を思い浮かべながら、オーケストラのメンバー全員で心をこめて演奏いたしました。

当日は、野武先生の奥様が先生のご遺影とともにご臨席くださり、全体が見守られているように感じられました。また、演奏に先立って拝聴いたしました講演は大変分かりやすく、深い学びや楽しさがありました。オーケストラのメンバー全員にとりましても貴重な学びの場となり、その後の演奏への良い励みとなりました。講演と音楽とが互いに響きあい、心豊かになる集いになりましたこと、大変嬉しく思っております。

神奈川放友会を支えておられる皆様のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、野武先生のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。野武先生の精神を胸に、音楽を通じて皆様と心を分かち合う機会を重ねてまいりたいと思います。

## 神奈川放友会「懇親会」開催案内。

「気楽に集まり『過去を語り、現在を語り、未来を語ろう』そんな『憩いの館』でありたい。」の設立趣旨に則り活動し、創立 19 年目を迎えます。

会員そして会員以外の人達も大歓迎です。皆さんに声掛けください。

**皆さんと近況報告等含め元気な秘訣を語り合いましょう。**

日 時 11 月 22 日（土） 12:00 ～ 14:00

場 所 桜木町ワシントンホテル 5 階 「ダイニング&バー ベイサイド」

会 費 5,000 円 予約制です。 締切 10 月 31 日

参加者はメール「kanagawahohyuh2009@jcom.zaq.ne.jp」又は「理事等」に声かけください。